

衆議院外務委員会ニュース

平成 20.4.23 第 169 回国会第 10 号

4 月 23 日、第 10 回の委員会が開かれました。

1 投資の自由化、促進及び保護に関する日本国とカンボジア王国との間の協定の締結について承認を求めるの件(第 168 回国会条約第 3 号)

投資の自由化、促進及び保護に関する日本国とラオス人民民主共和国との間の協定の締結について承認を求めるの件(条約第 2 号)

全権委員会議(1994年京都、1998年ミネアポリス及び2002年マラケシュ)において改正された国際電気通信連合憲章(1992年ジュネーブ)を改正する文書(全権委員会議(2006年アンタルヤ)において採択された改正)及び全権委員会議(1994年京都、1998年ミネアポリス及び2002年マラケシュ)において改正された国際電気通信連合条約(1992年ジュネーブ)を改正する文書(全権委員会議(2006年アンタルヤ)において採択された改正)の締結について承認を求めるの件(条約第 6 号)

- ・高村外務大臣、松島国土交通副大臣、岡本総務大臣政務官、宇野外務大臣政務官及び政府参考人に対し質疑を行い、質疑を終局しました。
- ・上記各件について採決を行った結果、いずれも全会一致をもって承認すべきものと決しました。
(賛成 - 自民、民主、公明、共産、社民)

(質疑者及び主な質疑内容)

木村隆秀君(自民)

- ・日韓首脳会談の成果及び今後の日韓関係のあり方について、高村外務大臣の所感を伺いたい。
- ・メコン地域の幹線道路である「東西回廊」の建設を主軸とした、我が国の対ASEAN協力の今後の見通しとその効果及び両投資協定の意義について伺いたい。
- ・内海・前国際電気通信連合(ITU)事務総長の評価と同連合における日本人職員の人材育成にどのように取り組んでいるか。

野田佳彦君(民主)

- ・4月26日に長野市で行われる、北京オリンピック「聖火リレー」への妨害行為に対する警備体制について伺いたい。
- ・これまで我が国からのカンボジア及びラオスへの貿易、投資が伸びなかった理由について伺いたい。
- ・過去最高レベルの内容とも言える日・カンボジア投資協定は、今後の二国間投資協定の見本とすべきではないか。

武正公一君(民主)

- ・イエメン沖における日本籍原油タンカー「TAKAYAMA」襲撃事件(2008.4.21)に対する我が国政府の対応及び同事件発生海域における関係国沿岸警備機関等との協力体制を構築していくことに対し政府はどの

ように考えているか。

- ・我が国がITUにおいて主導的役割を果たすために日本人職員の増加に向けて具体的にどのように取り組んでいるか。
- ・両投資協定に規定されている腐敗行為の防止に関する努力義務規定の実効性について政府はどのように考えているか。

笠井亮君(共産)

- ・両投資協定に規定されている投資受入国が投資家に対し一定の待遇を与えることを目的とする「公正かつ衡平な待遇」等が投資受入国に不利益に働く可能性はないか。
- ・在日米軍岩国基地で開催される日米親善デー(2008.5.5)における航空ショーに核兵器搭載可能な大型戦略爆撃機B-52が参加することに対し、高村外務大臣はどのように考えているか。
- ・我が国政府は、B-52に関する過去の政府答弁に従って国民感情を考慮し、同機を岩国へ飛来させないように米国に要請すべきと考えるが、高村外務大臣はどのように考えるか。

照屋寛徳君(社民)

- ・日・カンボジア投資協定に腐敗行為の防止に関する努力義務が規定されるに至った背景及び経緯とはどのよ

うなものか。

- ・同協定により投資家の投資財産が保障されない具体的なケースとはどのようなものか、また、革命等により当該国の政権が交代した場合、同協定の効力はどうな

るのか。

- ・我が国からラオスへの投資が拡大される際に同国に環境破壊等のマイナスの影響を与える可能性について、政府はどのように考えるか。